

大崎市社協「地域福祉活動計画[第3期]」を策定いたしました

少子高齢化や核家族化の進行、ひとり暮らしや高齢者のみの世帯の増加、地域との繋がりの希薄化など、社会を取り巻く環境の変化に伴い、住民が抱える福祉課題は多様化、複雑化しています。さらには、新型コロナウイルス感染症により、人と人が距離をとり、接触の機会を減らすことが求められる中、地域福祉・ボランティア活動は制限を余儀なくされています。

このような社会情勢の変化に対応していく中で、日常的にも誰かと繋がっていること、誰かを支えたり支えられたりしていることの大切さに改めて気づかされるとともに、誰もが住み慣れた地域の中で安心して暮らせるまちづくりを目指していく必要があります。

大崎市社会福祉協議会では、社会・経済状況の変化や多様化、複雑化する福祉課題に対応すべく、住民一人ひとりの問題を、「我が事・丸ごと」として住民自らがとらえ、地域共生社会の実現に向けて、今後6年間の地域福祉の方向性を見据え、住民の皆様を主体として、各地域の行政区長会、民生委員児童委員協議会をはじめ、社会福祉団体、ボランティア、行政機関等と協働して地域福祉の推進に取り組むため、地域福祉活動計画[第3期]を策定いたしました。

本計画の趣旨に沿った地域福祉を推進し、住民誰もが住み慣れた地域で安心して生活ができるまちの実現に向け、取り組んでまいりますので、引き続きご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



遠藤会長への計画答申

地域福祉活動計画[第3期]について

【基本理念】

ひとびとの 心ふれあう 地域づくり ～ 地域の絆と支え合い ～

地域の住民同士一人ひとりが互いを支え合い助け合いながら、7つの基本目標に基づき、地域の「絆」づくりへと繋がる地域福祉活動を積極的に展開し、地域共生社会の実現に向けた大崎市の地域福祉をより一層推進してまいります。



7つの基本目標と事業展開について

① 【地域づくり】 住民主体となる新たな地域づくり

地域住民同士の豊かな関係づくりや小地域単位での福祉活動の活性化を図るために、住民による地域主体で行う地域福祉活動への支援を拡大していくとともに、関係機関との連携を図り、ボランティアや地域活動に取り組む人や団体等への様々な支援をとおして、住民参加でともに支え合うまちづくりを推進します。

＜重点活動＞地域共生社会の実現に向けた包括的支援と多様な参加・協働の推進

＜達成目標＞住民一人ひとりが地域活動への参加を通じて、地域の福祉課題を『我が事』として捉え、課題解決に協働して取り組める地域づくりをめざします

② 【地域づくり】 支え合う地域の見守り体制づくり

ひとり暮らしの高齢者世帯や高齢者のみの世帯が年々増加していますが、近年では高齢者の他にも不登校やひきこもりなど、様々な課題を抱え、地域からの見守りを必要とされる方も増えていることから、社協においては、今後も定期的な見守りの機会を提供しながら、各地域で育まれてきた地縁力を活かしつつ、住民と関係者及び関係機関との橋渡し役として、地域住民や関係団体等による見守り体制の構築を推進してまいります。

＜重点活動＞地域住民や関係団体等による多様な見守り活動の推進

＜達成目標＞地域自治組織の活動や住民同士の支え合いなど各地域の特性を活かし、誰もが安心して生活できるように、地域に根差した見守りの体制づくりをめざします

③ 【ひとづくり】ひとびとの絆をつくるボランティアの養成

従来の中高年を対象としたボランティア養成事業の実施に加えて、中学生や高校生といった若年層・青年層を対象とした交流事業を実施し、支え合いや助け合いの大切さに触れる機会を提供するとともに、地域において未来の担い手となる人材育成事業を展開してまいります。

＜重点活動＞中学生や高校生をはじめとする若年世代による交流事業の推進

＜達成目標＞地域の支え合い活動を継続的に実施していくために、地域で主体となり活動できるボランティアの養成をめざします

④ 【ひとづくり】地域づくり推進のためのひとづくり

地域においては、複数の多様化した要因により解決が難しい福祉課題が増えてきていますが、困難な福祉課題に対しても社協や専門機関と連携し、自主的に活動に取り組んでいける地域リーダーや地域ボランティアの育成を目的とした研修を開催し、地域の担い手となる人材の確保と育成を推進してまいります。

＜重点活動＞住民参加の支え合い活動の担い手やボランティアの育成を推進

＜達成目標＞自分たちの地域課題に対して、住民同士が協力して自主的に活動をすすめることができる地域の担い手となる人材の育成に努め、地域の福祉力向上をめざします

⑤ 【交流づくり】ふれあいと笑顔があふれる世代間交流の推進

地域では町内会や行政区長、民生委員児童委員などが中心になって、地域の支え合いを育む地域福祉活動を実施していますが、社協においてはそういった活動を支援する事業を実施するとともに、子どもから大人まで広く集える交流の場を活用しながら、市内の小中高および短大ならびに幼稚園や保育施設等との協働のもと、支え合いとふれあいの大切さについて啓発する機会を提供してまいります。

＜重点活動＞子どもを中心とした幅広い世代による世代間交流の推進

＜達成目標＞幅広い世代の住民同士が、ふれあいと笑顔あふれる交流の機会を通じて、人と人とのつながりを感じながら、暮らしていける地域づくりをめざします

⑥ 【交流づくり】地域づくりに向けた関係団体の連携・交流の推進

地域が主体となって地域自治組織の創意工夫と地域の特色を活かした取り組みを実施する小地域福祉活動に対して事業支援を継続するとともに、地域福祉団体や社会福祉法人、関係機関との連携強化を目的とした情報共有と意見交換による地域共生社会の実現に向けた仕組みづくりを推進してまいります。

＜重点活動＞町内会単位の福祉情報交換の推進

＜達成目標＞地域自治組織等の活性化を図るため、地域自治組織や町内会を含めた地域福祉団体や関係機関との連携を図ります

⑦ 【拠点づくり】活動展開のための拠点づくり

住民が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる福祉のまちづくりを掲げ、中山間・過疎地域など、民間事業所では行き届かない地域やサービスにおいても在宅での生活を支え続けるために、弛まぬ経営努力と安定的なサービス提供体制の供給に努めてまいります。

＜重点活動＞地域のセーフティネット機能の充実に向けた事業運営の推進

＜達成目標＞住み慣れた地域でいつまでも暮らし続けられるよう、地域におけるセーフティネット機能を兼ねた、福祉サービス事業の安定的な事業運営をめざします



第2回 策定委員会